

1月例会

メンバースピーチ



毎回、会員企業のみなさんに、タイムリーな話題についてお話しいただく「メンバースピーチ」。2002年最初の例会では、新しい時代やニーズに対応した商品開発、他社にはない斬新な発想などについて幅広く語っていただきました。

食中毒菌を見分ける顕微鏡装置の開発

大洋エレックス（株） 川端 克裕 氏

今年創業21年目を迎える当社では、主に画像処理装置や欠陥処理装置、センサーの開発業務などを手がけています。最近では、ペットボトルや板ガラス、タイル、ブラウン管関連の外観・欠陥検査の依頼が増えつつあることから、ペットボトルの傷や焼けなどを瞬時に見分けるシステムを提供するようになりました。そのほかにも、ペットボトルに成形される前の事前検査も行っています。ここ4～5年の間、500mlや350mlのボトルが市場に急速に普及したこともあり、1台約600万～1000万円もする高価なシステムにもかかわらず、取引先メーカーから注文があり100ラインほどの納入実績があります。

当社の社員は約28名ですが、標準化したものを社外の協力会社に組み立ててもらい、品質テストを私たちの手で行っています。大手企業の参入もありますが、当社では機器を販売するだけでなく、現場で徹底的にテストをしてお客さまに納得して使ってもらうというやり方を貫いています。いままでトラブルなどで返品されたことは一度もありません。創業以来、99.9%の高品質を目指しており、それを達成していると確信しています。

こうした検査・欠陥装置以外にも、新規事業の柱が必要ということで、1年の歳月をかけて昨年5月に新しく「位相差顕微鏡」を開発しました。これはプレパラートを差し込むだけの簡単操作で、食中毒の原因となる細菌をその場で観察できるという画期的な装置です。1800倍くらいはかなり拡大した倍率で、白血球や赤血球だけでなく、サルモネラ菌やO-157などの食中毒菌を、付属の6.4インチ液晶モニターではっきりと見分けることができます。これまでに味の素やその他の食品企業などへすでに300台以上の販売実績があり、今年1月にもある企業から300台の注文をいただいております。

もともとこの装置は、ハセップ基準を目指す食品企業に向けて販売していく予定でしたが、最近になって健康食品会社からも注文がありました。健康食品を服用する前と、服用した後の赤血球の流れの変化がその場で見比べられるので、お客さまに非常に好評とのこと。いまでは営業マンがこの装置をデモ用に持ち歩いて、全国のドラッグストアを回っているそうです。食中毒菌を見つけるつもりで開発したのですが、思わぬところで新しいルート開発ができました。

そのほか、最近では医療機器関係の商品開発も手がけています。この4月くらいから本格的に販売しようと考えているのですが、すでに何件かの問い合わせもあり、うまくいけば全国の病院から受注をいただけるのではないかと期待しています。

今後も積極的に新商品、新システムの開発を行っていきたくと思っていますので、みなさまのご支援とご協力をよろしく願っています。

島津ブランドを生かした情報システム・ソフトの提供

(株) 島津ビジネスシステムズ 直江 一治 氏

島津ビジネスシステムズ（以下SBS）は、いまから3年前に島津製作所の情報システム部門が分社化して生まれた会社です。主に情報システムの運用管理や開発、ネットワークの構築管理業務などを手がけており、売上高は平成12年度で約15億円。エンドユーザーが島津製作所以外の外販比率は12～19%くらいですが、この数値をいかに早く50%以上にするかというのが私の使命です。

分社化の主要な目的は4つあって、1つは管理部門のリエンジニアリングを進めて、島津本社向けの経費を削減するということ。2つ目は、本社と関連会社の情報システムを統合運営して、島津グループ全体の最適なシステム構築をしようということです。3つ目としてフレキシブルな人材雇用をはかること。その上で4つ目に、新しいビジネス分野に挑戦していこうというものです。

SBSは島津本社から情報システム全体の開発・運用を一括受託していますが、基幹システムはホスト系が多く、自社開発したオープン系が少ないため外に向けて提供しがたく、外販に弱い側面がありました。

そこで、島津のネームブランドを生かし他社との差別化を図るべく、「環境計測」と「介護医療」に的を絞って製品開発をしてきました。

具体的には環境計測の分野では、企業向けに「廃棄物計量管理システム」を提供しています。これは、ゴミの種類や排出した部署など、ゴミの排出記録をバーコードリーダーで識別し、各拠点ごとにコンピューターで一括管理するというものです。その他に、ISO14001対応の「環境影響評価システム」、PRTR/ASPサービス、また、介護医療分野では関係会社の島津エンタープライズに対して、「地域介護推進システム」を提供しています。これはケアマネージャーと介護事業者の需給バランスをASPで提供するものです。

当社は大規模なネットワークの構築と運用が強みなので、島津本社の入札案件について、ネットワーク構築とシステム開発を担当し、ある程度の売り上げ拡大はできました。しかし、継続的な売り上げを考えたとき、前記2分野では市場規模が小さいので、今後はSBSの本来のコア技術を生かした業務系システムのASP事業に特に力を入れていきたいと考えています。

また、京都市ベンチャービジネスクラブ会員企業4社（株）スリーエース、アド・プロヴィジョン（株）、サツマ通信工業（株）、当社が異業種会メディア・レップを立ち上げ、「インターネットホテルシステム「洛々京パティオ」だから京都が洛々楽しい」を開発しASPで提供していきます。これは、京都の観光客に対して、ホテルを中心にインターネットを利用して観光情報を提供するサービスで、「ホテルが推薦するお店をホテルで予約、お支払いもホテルで一括精算（機能拡張時から）」をコンセプトに開発したものです。

“洛々京パティオ”は、利用者がホテルのホームページから京都の見どころや食べどころの情報を探し、ホテル推薦のお店を予約することができます。このシステムによって、お客様だけでなく、ホテル・飲食店・お土産店の皆様にも有益なメリットを生み出し、京都の観光・商業振興に貢献できるものと期待しています。

インターネットホテルシステム「洛々京パティオ」

インターネット・コンシェルジュ

企業コンソーシアムとして、（株）スリーエース（事業運営全般）、アド・プロヴィジョン（株）（コンテンツの提供・管理）、（株）島津ビジネスシステムズ（システム機能構築）の3社が運営を行い、ビジネスモデル特許を申請中のASPサービス「洛々京パティオ」。

■お申し込み・お問い合わせ

(株) スリーエース インターネットホテル事業部

〒600-8431

京都市下京区綾小路通室町西入善長寺町143番地（マスキビル）

TEL/075-341-5263 FAX/075-341-5270

犯罪を未然に防ぐセキュリティの発想

(株) ケルクセキュリティシステム 仲良二 氏

セキュリティの概念には、コンピュータセキュリティから一般家庭のセキュリティまで幅広い意味合いがありますが、当社では主に「防犯」という業種のセキュリティを構築しています。創業して25年になります。多岐にわたるセキュリティの裏側を見据えているという点で、セキュリティの本家本元である警察機関との関わりが非常に深い会社です。私自身、これまで数多くの犯罪現場に足を運び、新聞には掲載されない犯罪の裏側を見てきました。事件発生時には捜査協力の依頼を受けることも多く、当社の技術力とソフト力は警察諸機関から高い評価をいただいています。そのほとんどはボランティアで協力していますが、いつも犯罪現場にいて、さまざまな視点から犯人の行動パターンや手口を研究し、その分析結果をもとに防犯のノウハウを蓄積しているからこそ、現場の要望に応じた精度の高い商品開発ができるのです。そういう意味で、私たちの会社は小さいけれど、中身は本物（一流）だというこだわりと誇りを持っています。

私がこの仕事をして3年目ぐらいに、あるベテラン刑事と出会ったのですが、その刑事は「セキュリティに必要なのは、犯罪が起これから対処するのはなく、犯罪を未然に防ぐことだ」と、犯人が起これから対処。泥棒に侵入されないためにはどうすればいいのか、犯人にあきらめさせるにはどういう手段があるのか。セコムなどに代表される警備員を擁した大手企業とは発想がまったく異なる、「防犯」という点に着目した新しいセキュリティシステムの開発というのが、私のライフワークとなっています。

また、現在の売り上げの90%は、監視カメラです。大手メーカーの価格により、30%～50%安く、性能、品質も遜色なく、「安くて良いもの」こそグローバルスタンダードだという当たり前の認識が、周知されるようになってきたかなという気がします。

現在、大手スーパーのジャスコなどで合計2500台の監視カメラの設置工事を行っており、ようやく監視カメラのメーカーとして大きな土俵に上がることができました。今後、犯行を未然に防ぐという観点から、あらゆるニーズに応じたセキュリティシステムの開発に邁進していきたいと考えています。